

14年ぶりの日帰り旅行

おはようございます。現在時刻は朝の7:40。今までの鉄研旅行で何度も集合場所になっている上野駅中央改札口へと向かう。

いつもならここから約3日間の旅が始まるのだが、今回は1日で東京に戻ってくる。実は鉄研旅行が日帰りなのは鉄研がまだ同好会時代の2000年以来14年ぶりだ。

京浜東北線内での発煙の影響で顧問の1人が10分遅れるというアクシデントがあったが、他の参加者は集合時間までに集合し、無事旅は始まった。



▲上野駅中央改札口。

ここから草津への旅が始まる。



▲尾久の車両センターに珍客が。

横浜線の205系が疎開していた。

快適なリゾート列車

上野から大宮までは普通列車に乗る。この旅行では全ての行程を特急や観光列車にしたかったが、この区間のこの時間には特急がないので仕方ない。

だが、大宮からはリゾート列車だ。乗車するのは、高崎支社の485系「リゾートやまどり」という6両編成の列車だ。車内は2+1列シートでとてもゆったりしている。まだ温泉に入っていないのに、すでに癒されてしまう。高崎線内ではスピードが遅かったが、運転台真後ろの展望スペースや、ちょっとした座敷もあって楽しめたので、特に気にならなかった。途中、高崎と渋川で十数分停車した。特にやろうと思っていたことはなかったので、後続の列車を撮影していた。そして列車は再び発車。渋川からは上越線と分かれ、吾妻線に入る。吾妻線は、全線単線で、沿線には今まで沿線に多くあった住宅は少なく、のどかな風景が広がる。そして列車は、途中駅の中之条に到着した。

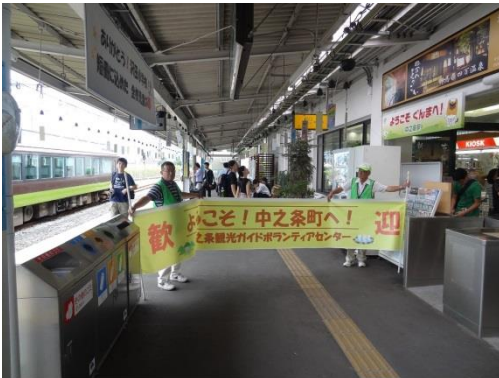


▲485系「リゾートやまどり」

中之条にて



▲運転台の後ろにある展望スペース
リゾートやまどり先頭車にて



▲「ようこそ! 中之条町へ!」と
書かれた幕 中之条にて

5年後はもう水の中

中之条では、中之条町の観光時間として約90分停車する。本当は中之条駅周辺を散策したかったが、それでは帰りのリゾートやまどりに間に合わないの、私たちは後続の普通列車(長野原草津口行)に乗った。本数が少ないせい、車内は賑わっていた。しかし車内が賑やかなのは、本数が少ないだけではないようだ。岩島を出ると、左の車窓に真新しい線路が見えてきた。この線路は、八ツ場ダム建設により水没してしまう線路の代替として建設されたものである。八ツ場ダムというと、2009年に民主党が建設中止としたにも関わらず、2011年に

は建設再開が決まり、世間に波紋を呼んだことでその言葉を知っている方も多だろう。また、日本一短いトンネルである「樽沢トンネル」もなくなってしまう。そして水没区間にある川原湯温泉駅も移転するのだが、その駅に着くと車内が賑やかであった理由が分かった。駅に着くや否や鉄道ファンやダムファンが降りてシャッターを切る。駅頭上のダムの大きな橋や貴重な木造駅舎を撮っているようだ。線路が切り替わるのが今年10月なので、あと1か月でここからの景色は見られなくなってしまう。最後に撮っておこうという人が多いようだ。私もシャッターを切る。

川原湯温泉を出ると、終点の長野原草津口。駅に入る手前で先ほど分かれた新線と合流。そして列車は終点に到着した。



▲今年10月から切り替わる新線
岩島～川原湯温泉にて



▲駅頭上にかかる橋。
数年後はここはもう水の中。

観光客多いね・・・

列車から降りて、草津温泉行のバス乗り場へ行く。列車に乗っていた乗客の大半も私たちと同じようにバス乗り場へ向かう。夏休み終盤だし、観光客はあまり多くないだろう・・・そう思っていたが、実際は真逆だった。観光客多い!!!結果、参加者全員で同じバスに乗ることができず、私たちのグループともう2つのグループは15分後のバスに乗車した。

坂道をゆられること25分、バスは草津温泉バスターミナルに到着した。



▲長野原草津口と草津温泉を結ぶ
JRバス 長野原草津口駅バス停にて

来たぞ草津温泉!!

ここから自由行動。そろそろお腹が空いてきたので昼食をとりたいのだが、草津はグルメの街ではないので、バスターミナルの建物内にある食事処で親子丼を頂いた。昼食を済ませ、草津温泉街の中心地である湯畑付近へ向かう。急な坂道を降りていくと、そこは湯畑。本当に温泉が川のように流れていて驚いた。それにしても、湯畑は硫黄の匂いが強烈である。理科の実験でこのような匂いを感じたことがあった気がす

る。しばらく湯畑周辺を観光したあと、私たちは湯畑近くの温泉へ向かった。



▲かの有名な湯畑



▲温泉の「滝」?



▲私たちが入った温泉「御座之湯」

源泉かけ流し

私たちが入ったのは、「御座之湯」という温泉だ。この温泉は、江戸・明治時代にあつた5つの共同湯のうち一つを再建したものであるそうだ。入ろうとした所にすでに入浴

し終わったグループと出会った。なかなか人気があるんだな、と思った。タオルを購入し、早速脱衣所へ向かうのだが、脱衣所が暗かった。脱衣所こそ明るくあるべきだと思ったが、肝心なのは風呂そのもの。その日の浴室である「石之湯」（この温泉では日替わりで男女の浴室が変わるそうだ）に入浴する。草津温泉はPH(酸性・アルカリ性の強さを表す数値)の指数が1.5~2と強酸性であるため、肌がヒリヒリするかと思ったが、あまりそういう感じはしなかったもので、気持ちよく入浴することができた。浴場から出た後休憩所で牛乳を飲み、お土産を買って再び草津温泉バスターミナルで再集合した。



▲御座之湯の休憩スペースから湯畑が見渡せる。



▲長野原草津口から新線の方を見ると、線路がギリギリまで設置されている。

本日2回目の「やまどり」

こ

こからは来た道に戻る。再びバスに乗りし、長野原草津口駅へ向かう。長野原草津口からは本日2回目のリゾートやまどりだ。駅のKIOSKで買い物をして乗車。再び川原湯温泉に到着。行きに写真を撮ったものの、二度と見られない景色はやはり見られるうちに沢山撮って見ておくものだろうか。

川原湯温泉を出発した後は外も暗くなってきたので、ゲームをしたり、先輩たちと座敷スペースで雑談をしたりした。大宮に到着した後は後続の普通列車に乗り、上野へ。上野に到着したのち解散、1日目が終わった。

明日もあるよ！忘れないでね！

【1日目終わり】

【2日目 8/25(月)】

この日の乗車列車

新宿 8:53 小田急線 特急ロマンスカーはこね9号 箱根湯本行→→→→箱根湯本 10:35
 箱根湯本 11:09 箱根登山鉄道 強羅行→→→→→→→→→→→→→→強羅 11:49
 強羅 11:53 箱根登山ケーブルカー 早雲山行→→→→→→→→→→→→→→早雲山 12:03
 (箱根ロープウェイで桃源台駅まで移動)
 桃源台港 13:50 箱根海賊船 元箱根港行→→→→→→→→→→→→→→元箱根港 14:30 頃
 (ここから箱根湯本駅まで自由行動)
 箱根湯本 19:00 小田急ロマンスカーはこね44号 新宿行→→→→→→→→→→新宿 20:34

きょう、ロマンスカーで。

おはようございます。現在時刻は朝の8:20。1日目よりちょっと遅い集合である。1日目は草津に行ったがこの日はこれまた関東の有名温泉地である「箱根」。使用するきっぷは「箱根フリーパス」というきっぷだ。このきっぷは、

小田急線乗車券

+

箱根登山鉄道・ケーブルカー乗り放題

+

箱根ロープウェイ乗り放題

+

箱根海賊船乗り放題

+

指定されたバス区間乗り放題

+

一部施設割引

という夢のようなきっぷである。青春18きっぷより優れているきっぷだと私は思っている。

フリーパスで改札を通り、ロマンスカーが発着するホームへ行き乗車する。



▲2日間使える箱根フリーパス。

普通の券売機から発行できる。



▲英語による案内表示。右上を見ると「FULL」の文字が。まさかの満席。



▲ロマンスカー30000形「EXE」。

編成を6両と4両に分割できる。

行きに乗るロマンスカーは30000形「EXE」(Excellent Express)という茶色のボディーが特徴の車両だ。昨日乗ったリゾートやまどりが快適すぎて「やまどりのの方がよかった」と思った人も少なくなかったようだが、私はどちらもそれぞれの特徴があつていいと思う。

そしてロマンスカーは新宿を定刻通り出発。途中、去年の駐車場の表紙の撮影地である下北沢を通過。世田谷代田を過ぎると複々線区間に入る。スピードが上がっていくと思っていたが・・・上がらない。朝ラッシュの余波が残っているせいだろうか。結局、スピードが上がることなく、新百合ヶ丘へ到着した。しかし、新百合ヶ丘を発車するとグングンとスピードが上がっていく。新百合ヶ丘までスピードが上がらなかったのは、多摩線の列車がいたからだったのか。次の停車駅の相模大野で片瀬江ノ島行の後ろ4両を切り離し、ここからは6両で箱根を目指す。本厚木を過ぎたあたりから沿線に緑が増えてくる。秦野あたりからは完全に緑一色になる。この辺は秋には紅葉の名所となる。

新松田あたりからは再び住宅街。酒匂川

では鮎釣りをしている人を見かけた。小田原を過ぎ、箱根登山鉄道に入ると、列車は終点の箱根湯本に到着。



▲酒匂川を渡る。鮎釣りをしている人を見かけた。 新松田～開成にて



▲早川にかかる橋から見た箱根湯本駅



▲箱根登山鉄道モハ1形。
1950(昭和25)年から活躍する大ベテラン。

箱根の山を登る

箱根湯本からは箱根登山鉄道の列車に乗り換え。出発していきなり80%の急勾配。登山電車は急勾配や急カーブを通過していく。塔ノ沢を過ぎると箱根登山鉄道名物のスイッチバックがある。列車を方向転換させるため、運転士と車掌が入れ替わる。これを途中ここを含めて3回行い、列車は終点の強羅に到着。さてここでケーブルカーに乗り換えるのだが、ここでも昨日同様、1つの便に参加者全員で乗れない事案が発生。箱根は常に観光客が多いのに、ケーブルカーが一基しかないのは何とかしてほしいと思った。(乗れなかったグループは桃源台で追いつき合流できた。)



▲箱根登山ケーブルカー。LEDにはなぜか「各」という文字がある。

ロープウェイ is nice!

ケーブルカーは終点の早雲山に到着。ここからは箱根ロープウェイに乗る。18人乗りのゴンドラが1分間隔で来るので他のグループが大きく遅れることはなかった。いざ景色を楽しもう、と思っても・・・霧。一面の霧で反対側のゴンドラも近くまで来ないと見えなくて、かなり神秘的である。

晴れている日なら大涌谷が見えるのだが、なかなか見えない。今日はダメかと諦めていた時、奇跡的に霧が晴れた。大涌谷の見事な景色が見え、そして硫黄の匂いがゴンドラの中にまで入ってくる。その景色に外国人観光客も思わず「Nice!」と言っていた。大涌谷の頭上を過ぎると、再び霧がかかってしまった。時間にしておよそ1分程度しか見えなかったが、ロープウェイから見る大涌谷の景色は壮大だった。



▲18人乗りのゴンドラ。
ちなみにスイス製である。



▲深い霧で反対側のゴンドラも近くまで来ないと見えない・・・



▲奇跡的？に見えた大涌谷。



▲箱根ロープウェイは、ギネス世界記録を持っていた・・・！

大涌谷で別のゴンドラに乗り換え。途中、下を通る道路が見えたが、かなり渋滞していた。車でないと行きにくい場所もあるが、やはり箱根旅行はロマンスカーとフリーパスを使っていくことをお勧めしたい。途中駅の姥子を過ぎると、芦ノ湖を眺めながら終点の桃源台へ到着。ここの駅舎に併設している「桃源台ビューレストラン」で昼食をとる。ここは芦ノ湖を一望できる人気のレストランだ。うーん、どのメニューも値段が高い。人気の観光地だから仕方ないか。



▲レストランの和風おろしハンバーグ。これで1200円。

芦ノ湖といえば・・・

昼食を済ませたら、芦ノ湖名物の箱根海賊船に乗る。改札 10 分前にも関わらず長蛇の列ができています。列の前方に並んでいたのので、座席を無事確保でき、いよいよ出航。ぐるっと芦ノ湖を一周する。しばらくしてデッキに上がってみると、あれ？こっちのデッキとつながってない所にいるんだが・・・。そこは特別客室の上のデッキで、+数百円を入れる。参加者も数名リッチな船旅を楽しんでいた。船は箱根町港経由で元箱根港へ到着。ここから約 4 時間の自由行動。私たちはそのまま船に乗り続け、桃源台港へ戻る。



▲箱根海賊船「ビクトリー」



▲有名な小田急山のホテル。

今度来たらあそこに泊まりたい・・・

箱根の“新参”温泉

ここから箱根湯本までは来た道に戻るだけなので、省略させていただきたい。私たちが入る箱根の温泉は「箱根湯寮」という昨年3月にできたばかりのとても新しい温泉だ。入浴料は1200円(フリーパス優待)と、やはり割高である。しかし肝心なのは温泉そのもの。まだオープンして1年ちょっとということもあって内装はとてもきれいだ。「本殿 湯楽庵 大湯」という大浴場には、計5つの風呂と「熱ノ室」というサウナがある。まずは「内湯」という屋内風呂に入る。ジェットバスが移動の疲れを癒してくれた。もうこれだけでも1200円分の価値があると思った。それから、外の露天風呂へ。箱根の山に囲まれながら入る風呂は、他の温泉にはない味わいがあったとてもいいと思った。気持ちよくなっている所にスタッフが入ってきて「まもなくロウリュウサービスが始まります」と言った。ロウリュウとは何ぞや、と思いながらロウリュウサービスが行われる熱ノ室へ入る。ロウリュウとは、熱したサウナ石に、アロマを含

んだ専用の水をかけ、発生した高温の蒸気をタオルや団扇などで仰ぎ、心地よい香りと熱風で一気に発汗を促すサウナのパフォーマンスのことだそう(箱根湯寮 HP 参照)。熱が私に思いっきりふりかかり、あまりの熱さに私は熱ノ室を出てしまった。私にはまだ早かったか、大人になったら今度は最後まで味わおうと思った。風呂から上がり、フルーツ牛乳を買って休憩スペースへ向かう。温泉には休憩スペースが欠かせない。さらにここにはソファに座ってくつろげる贅沢なスペースもあるようだ。時間がなくなってきたので、早急に駅へ戻る。



▲日帰り温泉「箱根湯寮」。

箱根湯本駅からの無料送迎バスで約3分。

箱根旅行の最後は・・・

箱根湯本駅で再集合し、最後の列車、はこね44号に乗る。車両は50000形「VSE」(Vault Super Express)という、ロマンスカーのフラッグシップであり、旅の最後を飾るのにふさわしい列車だろう。この車両、車窓を見やすいようにと座席が窓側に5度傾いているが、車窓が見えない夜はあまり意味がないようだ。

19 時ちょうど、出発。新宿へ向かう。箱根湯本駅の売店で買った弁当を車内で頬張る。VSE といえば、この車両でしか飲むことができないプレミアムコーヒーがあるが、私はコーヒーが苦手なのでコーンスープを注文。こちらも十分おいしい。そして箱根湯本から 1 時間 34 分かけ、ロマンスカーは終点の新宿に到着し、南口改札付近で解散した。途中で 1 回帰宅したけど、2 日間お疲れ様でした。自動改札に吸い込まれて出てこないフリーパスが旅の終わりを感じさせた。



▲ロマンスカー50000形「VSE」。

展望席がある人気車両。

【2 日目終わり】

～あとがき～

旅行記を書いていて思いましたが、やはり今回の旅行は鉄研らしくありませんね。まあ、今回は「鉄道旅行」というよりは「温泉旅行」という感じでしたから。顧問の先生にも、「今回の旅行は今までの旅行の中でも 5 本の指に入るくらい楽な旅行だった」と言ってもらえて何よりです。こんな旅行もたまにはいいかな・・・？

これで旅行記は終了です。最後までお読みいただきありがとうございます！

【参考文献・URL 等】

・草津温泉 御座之湯

<http://gozanoyu.com/>

・小田急電鉄

<http://www.odakyu.jp/>

・箱根登山鉄道・箱根登山ケーブルカー

<http://www.hakone-tozan.co.jp/>

・箱根登山ロープウェイ

<http://www.hakoneropeway.co.jp/>

・箱根海賊船

<http://www.hakone-kankosen.co.jp/>

・日帰り温泉 箱根湯寮

<http://www.hakoneyuryo.jp/>